



BVLGARI 店内 VIP Room にある素敵な Photo

Mina と皆で
“omotenashi”
マナー生活!

第81回



ながくぼ みな
長久保 美奈

(有)ミナ・コーポレーション
代表取締役
& マナーコンサルタント

Profile

東北学院大学英文科卒。(株)JAL 国際線で世界21カ国を乗務後、米ワシントンDCに居住。大使館関連のサークル等で国際基準のマナーを学ぶ。日本帰国後に仙台で起業し独自の視点でファーストクラスの接客術、マナーリングを確立。日本では各法人企業、医療機関、大学等で年間260を超える講演や研修の講師としてトップレベルの接遇を指導。2020年ミセス Earth Japan マナー講師。仙台市在住。

ホームページ www.mina-corp.com

4月は新しい出会いの季節でもありますね。そんな時にエスコートのマナーを覚えておくことも便利です。さあ、この機会にトライしてみよう！

日本語のエスコートは英語のescortと同じです。護衛する、付き添うという意味ですが、通常女性に男性が社交の場で付き添う場合や、大切な相手を守るような場合に使います。

男性が女性を混み合った場所でエスコートする場合、手を差し出したり腕を貸したりすることで、お互いにはぐれず危険から女性を守ることが出来ます。欧米では恋人関係でなくともそういうシーンはよくあります

ね。また、階段やエスカレーターで安全面から女性の下に控えることや、エレベーターでドアの開け閉めなどの操作を男性が行い、女性を先に降ろすことはエスコートの基本です。もちろんエレベーターのドアに限ったことではありませんし、複数の女性がいる場合はエスコートする相手だけでなく、皆を先に通すことも大事です。日本の文化では残念ながら習慣としてそのようなマナーを習う機会がなく、海外で恥ずかしい思いをしてしまう方も……。ほかに、女性を車に乗せる場合は、助手席のドアを開けるだけでなく、乗ったことを確認して閉めるのも国際人のマナーの一つです。

さて、男女間でなくともエスコートする機会は色々ありますね。それはお客様や目上の方へのエスコート。安全に相手を誘導する、椅子を引く、また上座へ相手を座らせる、道で車道側を自分が歩くことで相手を危険から守る等々。気遣いそのものがエスコートだとも言えます。

欧米ではレディファーストは当たり前な一方で、ビジネスシーンでは男女対等とされることから、その辺りのバランスには注意が必要です。職場では性別で区別するのではなく、立場に合わせた対応が必要になりますね。つい最近も世界中で日本の性差別とも受け取れる不名誉な発言が批判されましたが、これは国際マナーとしてはタブーとされていることですのでグローバルな時代の常識として覚えておきましょう。

Mina



こんな武将にエスコートされたらとっても安心。講演後に人気の伊達武将隊と Smile



著書「マナーはいかが?」は各書店でランキング入り! エスコートの際に役立つマナーも

※同じ付き添うことでも介護目的の場合はエスコートとは言いません。その場合は“care”(ケア)と言います。